

部 局	市立豊中病院事務局	補 職	市立豊中病院事務局長	氏 名	大東 幹彦
-----	-----------	-----	------------	-----	-------

1. 部局の使命

地域の医療機関との連携を推進し、急性期医療を担う中核病院として、救急や小児・周産期、感染症などの政策医療、また、がん診療など高度で良質な医療を提供することで地域医療を支えます。こうした医療の質を確保・向上するためにも、公営企業として経営の効率性・効果を高め、安定した運営を行います。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>(1) 感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症の感染状況(フェーズ)に応じ、医療提供体制の確保に取り組みます。</p> <p>(2) 組織の使命を遂行するため、『市立豊中病院運営計画』(取組期間：平成30年度(2018年度)～令和4年度(2022年度))に基づき、下記の視点で病院運営に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機能と質の向上 ・地域医療連携の推進 ・患者サービスの向上 ・働き方の改善 ・業務の効率化と経営基盤の確立 	<p>(1) 感染状況が、フェーズ5となった際には、最大61床の病床を確保し、中等症患者に加え、他院で受入困難な重症者や小児、妊産婦、透析が必要な方の受け入れを行い、感染症指定医療機関としての責務を果たしました。</p> <p>(2) 病院運営計画に基づき、下記の視点で病院運営に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機能と質の向上 消化器センターを開設し、内科、外科の連携による診療科の垣根を超えた、より質の高い医療の提供に取り組みました。また、医療の高度化・専門化に対応し、利用者や地域の医療機関から受診しやすくなるよう、内科・外科の再編とともに、形成外科の設置に向けた準備を進めました。 ・地域医療連携の推進 当院の診療情報を共有できる「市立豊中病院ネット」において、薬局の登録数が増加し連携が進みました。また、退院後の患者さまの療養支援を充実させるため、担当職員による医療機関訪問を実施しました。 ・患者サービスの向上、働き方の改善 総室(4人室)の一部について、準個室として利用できるよう療養環境の向上を図りました。医師の働き方改革では、医師労働時間短縮計画の策定とともに、輸血業務の医師から看護師へのタスクシフト(業務移管)を行うなど、医師の負担軽減に取り組みました。 ・業務の効率化と経営基盤の確立 急性期充実体制加算や感染対策向上加算など、新設された施設基準を取得し、収益の向上を図りました。 <p>病院運営計画の最終年度となりましたが、以上の取り組みを含め、計画に掲げる取り組み項目について概ね実施し、急性期医療を担う地域の中核的病院としての役割を果たしてきました。一方で新型コロナウイルス感染症の流行により新規入院患者数は減少しており、持続可能な病院運営に向け、新たに「市立豊中病院運営計画(令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度))」を策定しました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>新型コロナウイルス感染症への対応</p> <p>(1) がん診療や救急医療など、必要な地域医療を確保しつつ、中等症・重症一体型病院として新型コロナウイルス感染症の感染状況(フェーズ1~5)に応じた患者の受入に取り組みます。</p> <p>①一般病床及びICU(集中治療室)を活用した入院患者の受入れ(通年)</p> <p>②患者特性(妊産婦、小児、透析患者など)に応じた受入れ(通年)</p> <p>③従事職員のモチベーションの向上及びメンタルヘルス対策(産業医との連携)(通年)</p> <p>④感染状況に応じたオンライン面会の実施(通年)</p>	<p>(1) 感染症対策として「診療体制の確保」「感染拡大防止に向けた療養環境の整備」「感染症業務に取り組む職員の支援」に取り組み、地域の医療体制の整備に貢献することができました。</p> <p>○診療体制の確保</p> <p>*「中等症・重症一体型病院」として感染流行のフェーズに応じた入院患者の受け入れ</p> <p>【実績】新規入院患者数 731人 うち小児150人、妊産婦24人</p> <p>*3/13現在</p> <p>○感染拡大防止に向けた療養環境の整備</p> <p>*「COVID-19感染対策マニュアル」の更新と徹底</p> <p>*感染対策向上加算1の取得と新興感染症受入訓練の実施</p> <p>*オンライン面会の実施</p> <p>○感染症業務に取り組む職員の支援</p> <p>*こころの健康相談窓口の開設</p> <p>*特殊勤務手当の支給</p> <p>*院内従事者へのワクチン接種</p>	<p>(1) 感染症法上の位置付けがインフルエンザ等と同じ5類となることから、感染症指定医療機関としての必要な医療体制を確保しつつ、一般診療を中心とした病棟の再編成など準備を進めていきます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-2-③ 地域医療の充実を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>16 感染症対策の強化</p>	24	市立豊中病院の機能強化

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>医療機能と質の向上</p> <p>(1) 従来の消化器内科・消化器外科という専門外来に加え、幅広くさまざまな消化器症状を診察し、内科と外科の共同したチームのもとで、多角的に診断・治療にあたり、より質の高い医療を提供していきます。</p> <p>①消化器センターの開設(4月)</p> <p>(2) 計画的に医療機器を更新し、医療の質と安全性を向上します。</p> <p>①超電導磁気共鳴画像診断装置(MRI)の更新(2月)</p>	<p>(1) 消化器センターを開設しました。内科、外科の合同カンファレンスなど、消化器疾患の検査、診断、治療を総合的に行い、内科・外科の判断が付きにくい消化器症状のある患者さまに対し、より質の高い医療の提供に取り組みました。</p> <p>(2) 超電導磁気共鳴画像診断装置(MRI)の更新については、部品の供給に問題が発生したことから、工事が延期となりました。</p>	<p>(1) 消化器内科、消化器外科の更なる連携強化に向けて、病棟を同じフロアーに配置するなど病棟再編を進めます。また、消化器センターについて地域医療機関への広報の強化に取り組んでいきます。</p> <p>(2) 超電導磁気共鳴画像診断装置(MRI)の更新については、令和5年(2023年)6月中旬に工事着工し、9月からの使用再開に向けて取り組みます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-2-③ 地域医療の充実を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>24 市立豊中病院の機能強化</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>地域医療連携の推進</p> <p>(1) 地域医療機関への訪問を継続し、顔の見える関係づくりとともに、意見交換を行い、課題や問題点を共有し、連携を強化していきます。</p> <p>①登録医総会(4月)</p> <p>②地域医療支援委員会(年4回)</p> <p>(2) ICTを活用した地域医療機関との情報連携を進めます。</p> <p>①「市立豊中病院ネット」の参加登録医療機関の拡充(通年)</p> <p>(3) 当院での治療を一定終えた後に、治療やリハビリをつなぐ病院間の連携を強化していきます。またコロナ禍の状況が継続するなかでも円滑な転院が可能となるよう、地域医療機関と意見交換や情報共有を行います。</p> <p>①豊中市病院連絡協議会(年2回)</p> <p>②豊中市病院連絡協議会病院長部会(随時)</p> <p>(4) 高齢者の一人暮らしや認知症の患者が増えていくなか、安心・安全な在宅生活が過ごせるよう医療と介護の連携を図ります。</p> <p>①WEBを活用したカンファレンスによるケアマネージャー等との情報共有、連携の強化(通年)</p>	<p>(1) 診療科部長による7医療機関への訪問を行うとともに、地域の医療従事者に対するセミナーを年2回実施し、75人の参加を得ることができました。</p> <p>○登録医総会及び地域医療支援委員会は、webやハイブリッド方式により予定どおり実施しました。</p> <p>(2) 「市立豊中病院ネット」の登録医療機関は前年度より24件増え、96件となりました。うち薬局の登録は28件と増加しており、連携が進みました。</p> <p>(3) 豊中市病院連絡協議会については、ハイブリッドにて総会を実施しました。また、病院長部会を随時開催し、各病院のコロナ対応等について情報共有を行いました。</p> <p>(4) 適切な療養が受けられるよう退院支援相談担当職員等による医療機関訪問の実施とともに、医療福祉相談に対応しました。</p> <p>訪問件数 256件(前年度は91件)</p> <p>医療福祉相談 1,998件(前年度は1,796件)</p> <p>○居宅介護支援事業所に向けたアンケートを実施し、課題の把握とともに連携の質の向上を図りました。</p>	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により医療機関訪問が困難な状況でしたが、診療科部長との連携のもと計画的な訪問を実施し、紹介患者の回復に取り組みます。</p> <p>○地域の医療従事者に対するセミナーを引き続き実施します。また、登録医総会における講演について大阪府医師会生涯教育単位の取得が可能となるよう調整し、登録医であるメリットの創出を図ります。</p> <p>(2) 「市立豊中病院ネット」は、クリニックの参加件数の伸びが鈍化しており、医療機関訪問時の声掛けや広報強化により参加医療機関の増加に繋がります。</p> <p>(3) 退院後の患者さまの支援を充実させるため、担当職員による医療機関訪問を継続します。</p> <p>(4) 居宅介護支援事業所へのアンケートを踏まえ、具体的な改善策を検討し、連携の質の向上を図ります。</p> <p>○医療福祉相談件数については件数の急激な伸びとともに相談内容が複雑かつ多岐にわたるものが増えていきます。MSWの関与すべきケースが増えており、適切な体制整備に取り組めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-2-③ 地域医療の充実を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>38 在宅医療と介護の連携促進</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
4	<p>患者サービスの向上</p> <p>(1) 4人で使用している総室について、テレビ台や収納棚、鏡などを備えた医療用家具で区切り、準個室として利用していただくことで、プライバシーに配慮した療養環境の向上を図ります(48床)。</p> <p>①総室(4人部屋)の準個室化(1月)</p> <p>(2) AYA世代※がん患者を中心としたサロンを新たに開設し、当事者同士で体験や気持ちを分かち合い支えあうピアサポート機能を充実させます。</p> <p>①AYA世代がん患者を中心としたがんサロンの開設(2月)</p> <p>※AYA世代とは、Adolescent and Young Adult(思春期・若年成人)の頭文字をとったもので、主に思春期(15歳～)から30歳代までの世代を指しています。</p> <p>(3) 安全で快適な療養環境を提供するため適切な施設・設備の維持管理に取り組みます。</p> <p>①エレベータの更新に向けた検討(令和4年(2022年)6月、更新計画の策定)</p>	<p>(1) 総室の準個室化については、令和4年(2022年)11月からのテスト運用を経て、令和5年(2023年)1月11日より正式運用を開始し、療養環境の向上を図りました。</p> <p>(2) 保健所Twitterや市役所line、院内ポスター、病院HPなど周知を行い、30代40代のがん患者を対象にサロン(AYAトーク)を開催しました。(2回)</p> <p>(3) エレベータの更新に向けた検討を行い、令和5年度(2023年度)から3か年にわたる更新計画を策定しました。</p>	<p>(1) 準個室の利用率が、病院全体の病床利用率より少し低い状況にあり、利用促進のため患者さま、病棟部門への周知を進めていきます。</p> <p>(2) 対象年内のがん患者が少ないことや、就労中のことが多いため、参加者を増やす地道な取り組みが必要です。近隣のがん治療医療機関へポスター掲示の協力依頼など医療者、患者双方への認知度向上をめざしていきます。</p> <p>(3) 令和5年度(2023年度)から3か年にわたる更新計画に沿って、進行管理を行います。</p>	
	総合計画			
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。			
	基本政策			
24	市立豊中病院の機能強化	42	がん患者等への支援の充実	

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	働き方の改善 (1) 医師の時間外労働にかかる上限規制が令和6年(2024年)4月から適用されます。当院の状況を分析し、働きがいのある職場づくりとともに、労働時間短縮に向けた取り組みを進めていきます。 ① 医師労働時間短縮計画の策定(9月) ② 医師の仕事の一部を看護師など他の職種に任せるタスクシフトの推進(通年)	(1) 医師の労働時間短縮に向けて、以下の取組みを行いました。 ○ 医師労働時間短縮計画の策定 * 同計画の策定(令和4年(2022年)9月) * 同計画に対する医療機関勤務評価センターからの評価の受審開始(令和5年(2023年)2月～) ○ 医師のタスクシフト・タスクシェアの推進 * 検討部会における各部署へのヒアリングを実施 * 輸血業務の医師から看護師へのタスクシフトについて全病棟で実施 ・タスクシフト・シェアに関するルールを策定	(1) 医療機関勤務評価センターからの評価を経て、大阪府への指定申請を行います。 また、令和6年度(2024年度)からの法適用(時間外の上限規制開始)に向け、医師労働時間短縮計画を実行します。 ○ 引き続き、医師のタスクシフト・タスクシェアを推進していきます。
	総合計画		
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。		
基本政策			
	40 医療・福祉・介護人材の確保育成		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	<p>業務の効率化と経営基盤の確立</p> <p>(1) 令和4年度(2022年度)診療報酬改定に適切に対応するため、院内での検討を行い、新たな施設基準の取得を進め、医療の質の向上と医業収益の確保に取り組みます。</p> <p>①診療報酬改定への対応(通年)</p> <p>(2) 確保困難な夜間病棟看護補助員を一部外部化し、安定的に従事者を確保することで看護師の負担軽減とともに夜間の看護体制の強化を図ります。併せて、夜間急性期看護補助体制加算の施設基準を取得し、収益増を図ります。</p> <p>①夜間病棟看護補助業務における人材派遣の活用(4月)</p> <p>(3) PHSからスマートフォンに切り替え、院内業務のデジタル化を推進し、業務の効率化を図ります。</p> <p>①導入事業者の選定(9月)</p> <p>②新システムの稼働(2月)</p>	<p>(1) 「急性期充実体制加算」や「感染対策向上加算1」など新設された施設基準を取得し、収益を向上を図りました。</p> <p>(2) 令和4年(2022年)4月より、人材派遣を活用し、夜間病棟看護補助員を確保し、看護師の負担軽減、夜間の看護体制の強化、夜間急性期看護補助体制加算の施設基準の取得を行いました。</p> <p>(3) スマートフォンにビジネスチャット導入に向けて検討を進めてきましたが、対費用効果を高めるため、電子カルテシステム等の更新時に合わせて導入することとしました。なお、eラーニングシステムを更新し、クラウド環境に移行することで利便性の向上を図りました。</p>	<p>(1) 病院幹部で構成される経営企画会議において、診療機能やチーム医療に係る診療報酬算定状況の進行管理を強化し、更なる医業収益の確保に取り組みます。</p> <p>(2) 安定的に夜間病棟看護補助員を確保し、取組みを継続していきます。</p> <p>(3) ビジネスチャットの運用方法について、引き続き調査検討を進めていきます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-2-③ 地域医療の充実を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>24 市立豊中病院の機能強化</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	「(仮称)市立豊中病院運営計画新プラン」の策定	<p>(1) 病院運営審議会から答申をいただき、令和5年(2023年)3月、「地域医療機関等との連携を一層推進し、地域の中核病院として、急性期医療を安定的に提供することで地域医療を支えます」を基本目標とする「市立豊中病院運営計画(令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度))」を策定しました。</p> <p>*病院運営審議会での審議 3回 *パブリックコメントの実施 3件 *「公立病院経営強化ガイドライン」に基づく大阪府指導対応(令和5年(2023年)1月～2月) *計画の策定・周知(令和5年(2023年)3月)</p>	<p>(1) 本計画の実施状況については、毎年度、院内で評価・検証を行い、病院運営審議会にも報告し、ご意見をいただきながら進捗管理を進めていきます。</p> <p>また、本計画にも影響があることから、令和5年(2023年)策定予定の第8次大阪府保健医療計画の改訂について注視していきます。</p>
	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症の流行により変化した医療環境や国の「公立病院経営強化ガイドライン」を踏まえ、現行計画(「市立豊中病院運営計画」及び「市立豊中病院運営計画実施計画」)の次期計画となる「新プラン等」を策定し、適切なマネジメントサイクルによる病院運営をめざします。</p> <p>① (仮称)市立豊中病院運営計画新プランの策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素案作成(4月～) ・病院運営審議会答申(11月) ・パブリックコメント実施(12月) ・策定(2月) 		
総合計画			
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。		
基本政策			
	24 市立豊中病院の機能強化		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
8	<p>人づくり・組織づくり</p> <p>(1) 新たな医療ニーズ、働き方改革に対応するため、人材育成を積極的に推進します。</p> <p>① 医師の働き方改革と他の医療職へのタスクシフトの推進(通年) 医師業務の分散化、収益向上に寄与するタスクシフトを検討・実施し、医師の負担軽減に取り組みます。</p> <p>② 「資格等取得助成制度」の拡充(通年) 看護師など医療職のスキルアップとモチベーション向上を図るため、職員の資格取得にかかる支援制度を拡充します。</p> <p>③ 医療事務専門職員の計画的な配置 医療事務専門職員を、診療報酬など専門的な知識や経験が求められる部署に配置を行い、病院運営の効率化・安定化を図れるよう、計画的に確保します。 ※医療事務専門職員数 現状10人→目標12人</p>	<p>(1) 輸血業務の医師から看護師へのタスクシフトについて全病棟で実施し、医師の負担軽減を図りました。(再掲) ○資格取得助成の対象に特定行為研修及び認定遺伝カウンセラーを加えるなど、支援制度の拡充を行いました。 ○医療事務専門職員について、採用試験を実施し、1名確保することができました。</p>	<p>(1) タスクシフト・シェアについては引続き検討を行い、可能な業務から順次移管を進めていきます。 ○充実した研修体制を提供し、職員の資格取得や研修受講に向けた支援を行うとともに、その専門性を活かすことができる機会づくりや職場配置に取り組みます。 ○医療事務専門職員について、病院運営の効率化・安定化を図れるよう、引続き、計画的に確保していきます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-2-③ 地域医療の充実を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>65 職員力を高める人材育成等の推進</p>		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>医療機能と質の向上</p> <p>地域医療構想に基づく地域での病床機能の再編が課題となっています。救急医療体制の確保とともに、がん・脳卒中・急性心筋梗塞・周産期医療等への診療機能を高め、急性期拠点病院として地域での役割を果たしながら、超高齢社会を見据えた地域医療体制の構築に貢献します。</p> <p>感染症の発生等突然の有事に迅速かつ適切に対応できるよう危機管理体制の強化に取り組みます。</p>	<p>(1) 地域医療構想への対応 令和4年度(2022年度) 新病院運営計画の策定</p> <p>(2) がん医療の充実 令和4年度(2022年度) がん診療連携拠点病院の指定更新</p> <p>(3) オンライン診療の促進 令和4年度(2022年度) 実施に向けた環境整備</p> <p>継続して実施 ①救急医療の充実 ②医療の質改善活動の継続 ③感染症指定医療機関としての機能強化</p>
	総合計画	
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。	
	基本政策	
	24 市立豊中病院の機能強化	37 オンライン診療の促進
2	<p>地域医療連携の推進</p> <p>新規入院につながる紹介患者の受診が課題となっています。診療情報の連携の迅速化や申込から受診・入院までの期間の短縮化を図るなど、かかりつけ医等との連携の向上に取り組み、地域との連携体制を強化・充実させます。</p>	<p>継続して実施 ①紹介率・逆紹介率の向上 ②医療機関訪問の強化、「市立豊中病院ネット」普及拡大 ③「地域医療支援病院」承認要件の維持</p>
	総合計画	
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。	
	基本政策	
	0	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>患者サービスの向上、職員の働き方の改善</p> <p>医師・看護師など医療スタッフの働き方改革が課題となっています。医療スタッフの業務負担軽減に取り組むとともに、働き方改革の取組みを進め、当院で働きたいと思える勤務環境の整備を進めます。併せて、令和6年度(2024年度)からの医師の時間外労働規制に対応するための環境整備に取り組めます。</p>	<p>継続して実施</p> <p>①「患者満足度調査」「患者の声」等に基づく改善活動の推進 ②働き方改革の推進 ③業務負担軽減の推進 ④医師労働時間短縮計画の策定(令和4年度(2022年度))</p>
総合計画		
2-2-③ 地域医療の充実を図ります。		
基本政策		
40 医療・福祉・介護人材の確保育成		
4	<p>業務の効率化と経営基盤の確立</p> <p>経営状況の改善が課題となっています。診療報酬改定の動向を踏まえた収益の確保と適切なコスト管理に基づく費用の削減への取組みを進め、安定した経営基盤の確立をめざします。</p>	<p>(1) 診療報酬改定への対応(令和4年度(2022年度)、令和6年度(2024年度)) (2) 情報システムの安定稼働 第3次医療情報化計画の推進(令和4年度(2022年度)～令和6年度(2024年度))</p> <p>継続して実施</p> <p>①費用の適正化 ②施設設備修繕計画の推進</p>
総合計画		
2-2-③ 地域医療の充実を図ります。		
基本政策		
0		